

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 17日

事業所名 放課後等デイサービス れいるd

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	60%	20%	20%	5人体制での支援を継続させたい。	増員ではなく、室内での配置や担当の工夫も合わせて取り組めればと思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	60%	20%	玄関の段差が高いため声掛けしている。 階段の上り下りでは怪我がないように配慮している。	目視で確認できる方法や、安全に過ごせる環境を模索していきます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	80%	20%	0%	PDCAサイクルで現状の洗い出しをし、全員で取り組みたい。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	60%	40%	0%		玄関掲示、ホームページ公表をしていますが職員への周知も合わせて行いたいと思います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	20%	20%		必要に応じて検討したいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	オンラインでの研修の実施。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	40%	40%	20%		アセスメント内容を見直し、より良いツールを完成させていきたいです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	20%	0%	職員間で活動候補をあげ、プログラム作成している。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	月に1つは新しい活動を取り入れるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	40%	40%	20%	子ども達に合わせた支援が行えるよう努力している。	平日では取組時間を考慮し設定できない課題も、長期休暇中に取り組むように調整しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	0%	20%	翌日に行い、共通認識できている。	終了後には行えないので、必ず翌日に全職員で振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	60%	40%	0%	記録の取り方を職員間で検討していきたい。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	80%	20%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	40%	60%	0%		
	関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	20%	0%	
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	80%	20%	0%	学校の年間計画の共有はできていないため、今後していきたい。 送迎時に、子ども達の様子を確認している。	
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	40%	40%	20%		看護師の配置も予定出来ておらず、体制が整う見込みがありません。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	40%	40%	20%		事業所が中高生を対象としているため、連携はとれていません。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	40%	20%		依頼があった時に、事業所での様子をまとめた書類や計画を提供したり、会議で直接伝達できることもあります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	20%	80%		必要に応じて検討したいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	20%	80%	0%		放課後等デイサービス連絡会へ毎回参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	20%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	40%	20%		困り事への対応等は常にさせてもらってましたが、ペアレントトレーニングの知識が薄いため、今後強化していこうと思います。
保 護 者 へ の 説 明 責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	60%	40%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	20%	20%		マスク着用の基準が緩和され、感染対策は引き続き実施しつつ、次年度は開催を視野に入れています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	報告、連絡、相談をしっかりと行い、対応している。	

任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	20%	60%		招待出来る行事の実施がありませんが、避難訓練等の実施を周知するなど地域の方への発信はしていきたいと思えます。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	40%	0%		保護者への周知まで至っていませんでした。気軽に閲覧できる環境を作り、周知を促していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	年3回（火災、水害、地震）実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	40%	40%	20%		やむを得ず行うことを想定し、必要な時には計画に記載し、記録を残し、対応していきたいと思えます。職員間での周知を徹底します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%	0%	保護者からの聞き取りで対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	20%	0%		